

舞台・映画・放送等で活躍する実演家・スタッフのため、会員となってご支援をおねがいいたします。

会員の種類

賛助会員（団体）

特別賛助会員（団体）

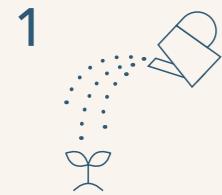
賛助会員（個人）

年会費：一口 1万円 5口より

年会費：一口 1万円 10口より

年会費：一口 1万円 1口より

いただいた会費の使用方法



万が一の備えができ、制作現場の環境が良くなる

(一財)日本実演芸術福祉財団 労災保険センター運営費に充当し、フリーランスの実演家、スタッフが、労災保険に特別加入する際の手数料を減らします。現場でのケガや病気に備えられるよう、労災保険加入率の上昇を目指します。



多くの実演家、スタッフが仕事として誇りを持って活動できる環境に

実演家、スタッフの社会福祉を充実させるための調査研究を行い、労災保険特別加入の促進をはじめ、年金、休業補償など実演家、スタッフの社会福祉充実に向けた取り組みを順次実現していきます。



制度の改革、幅広い支援の獲得

実演家、スタッフの問題意識や実態を把握し、国や社会へ提言を行ってまいります。

会員特典

- 会員となって財団の活動を支援することで、団体または個人として実演芸術業界の就労環境改善への貢献をPRできます。
- 財団ウェブサイトや広報物に、会員一覧として、団体名・お名前（ご希望の場合のみ）を掲載させていただきます。
- 財団の会員認定マークを付与します。
- 財団が主催・共催するセミナー等へ優先的にご参加いただけます。

入会・お問合せ先

一般財団法人日本実演芸術福祉財団

〒163-1466 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー11階

TEL: 03-6258-2800 E-mail: contact@jpawf.or.jp URL: https://jpawf.or.jp/



日本の実演芸術を担う実演家・スタッフの未来のために

業界全体で総合的な社会福祉の向上に取り組む



次世代を担う若手人材が安心して参加できる環境を整え、文化芸術の継承・発展のサイクルを豊かに進めていくためには、実演芸術界が一丸となって魅力ある就業環境を構築することが不可欠です。

一般財団法人日本実演芸術福祉財団は、実演芸術に関わる組織が立場を超えて結集し、2025年7月に設立いたしました。事業者と担い手が力を合わせて、業界全体で、より良い就業環境を整備する業界初の試みです。

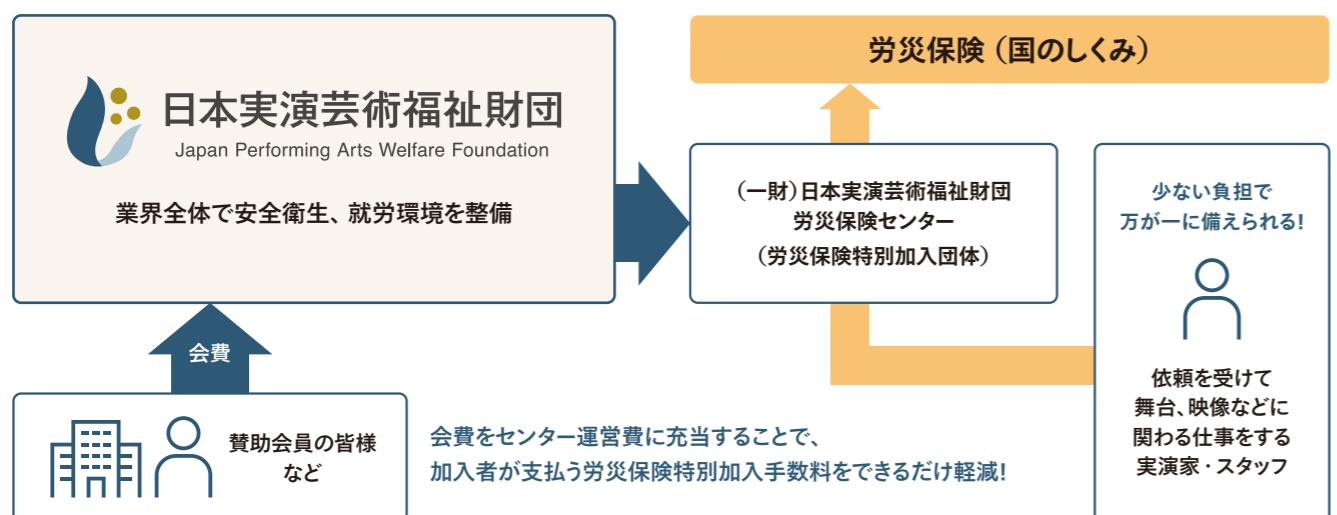
社会的財産である文化芸術の振興に資することを設立趣旨の中心に据え、実演家、スタッフが実演芸術活動を職業として、誇りをもって心置きなく続けられる環境をつくることを目的とし活動を行います。

最初の取組みとして、2025年10月、(一財)日本実演芸術福祉財団 労災保険センターを立ち上げ、芸能関係作業従事者のための労災保険特別加入業務を開始しました。皆様からのご支援により同センター運営費を賄うことで、個人事業者として活動する実演家、スタッフが労災保険に特別加入する場合の手数料を大幅に引き下げ、加入を促進します。また、現場の安全衛生の周知や、労災保険だけではない実演家・スタッフの社会福祉充実に向けた取り組みなど、段階的に就労環境の改善につなげてまいります。

事業内容

1. (一財)日本実演芸術福祉財団 労災保険センターの運営に係る事業
2. 実演芸術の担い手の福祉向上に関わる事業
3. 実演芸術の担い手の活動環境、福祉の促進についての調査・研究および提言事業
4. その他前項の目的を達成するために必要な事業

まずは「労災保険」に入りやすく(特別加入)



役員	評議員	安孫子 正	日本演劇興行協会会長
		金井 勇一郎	緊急事態舞台芸術ネットワーク理事
		斎藤 友佳理	東京バレエ団団長
		春風亭 昇太	落語家、落語芸術協会会長
		横田 健二	日本舞台技術スタッフ団体連合会理事長
	代表理事	望月 正樹	芸団協理事、日本オーケストラ連盟専務理事
		樋野 瞳子	芸団協著作権接権総合研究所室長
		出口 正之	公益事業支援協会副理事長、総合研究大学院大学名誉教授
		寺田 航	日本舞台技術スタッフ団体連合会代表理事
	理事	福島 明夫	芸団協常務理事、日本劇団協議会専務理事
		松田 和彦	緊急事態舞台芸術ネットワーク
	監事	吉浦 高志	日本演劇興行協会事務局長
		大井 法子	弁護士
発起人団体	公益社団法人日本芸能実演家団体協議会(芸団協) 公益社団法人日本演劇興行協会 一般社団法人緊急事態舞台芸術ネットワーク 一般社団法人日本舞台技術スタッフ団体連合会		
創設賛同団体	公益社団法人日本劇団協議会/日本児童・青少年演劇劇団協同組合/一般社団法人日本音楽制作者連盟/一般社団法人コンサートプロモーターズ協会/公益社団法人日本オーケストラ連盟/一般社団法人日本バレエ団連盟/公益社団法人上方落語協会/一般社団法人落語協会/公益社団法人落語芸術協会/全国舞台テレビ照明事業協同組合		
協力団体	劇場等演出空間運用基準協議会		



代表理事
望月 正樹

私も楽団に所属するまでの間、フリーのホルン奏者として、将来が見えない不安や、頼るものがない心細さを抱えながら活動しておりました。本財団の挑戦は、実演芸術に関わるすべての人々が、安心してその職責をまとうできる未来を築くための第一歩であると確信しております。また、国連の持続可能な開発目標(SDGs)においても、目標3「すべての人に健康と福祉を」が掲げられています。本財団の取り組みは、この理念にも通じるものです。ぜひ、本財団の理念にご賛同いただき、ともに、持続可能な実演芸術の未来を支えてくださいますよう、心よりお願い申し上げます。

